

張出施工における

側枠サポート材の工夫

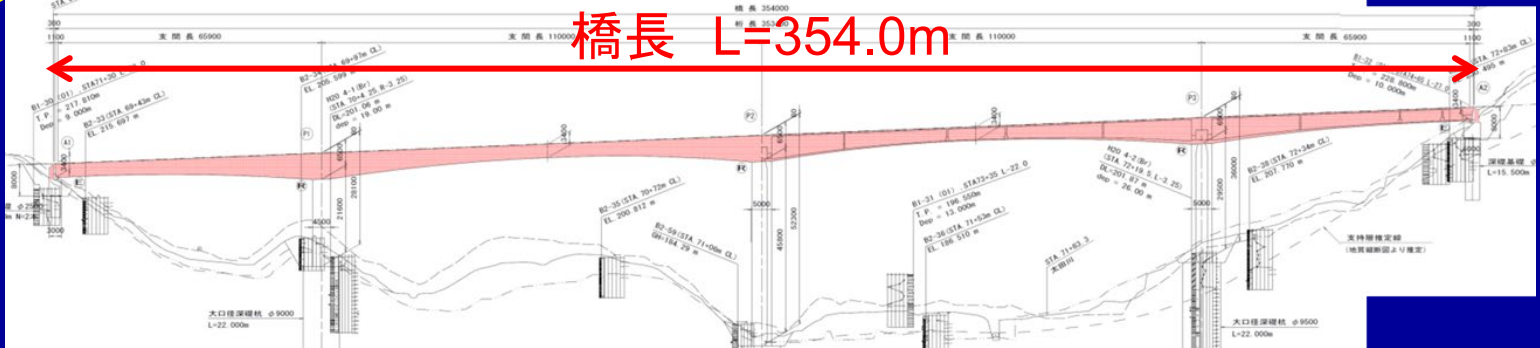
九州真栄会 土木部会

株式会社 辻野組

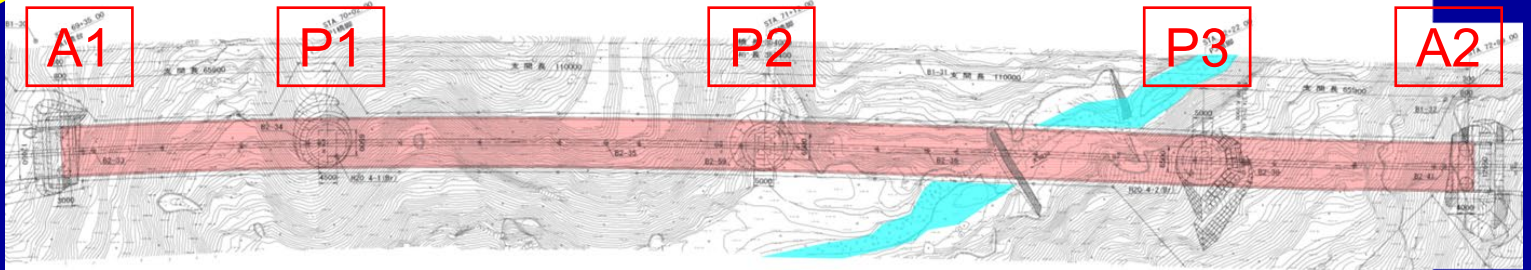
九州真栄会（土木部会）

第7回改善事例発表会

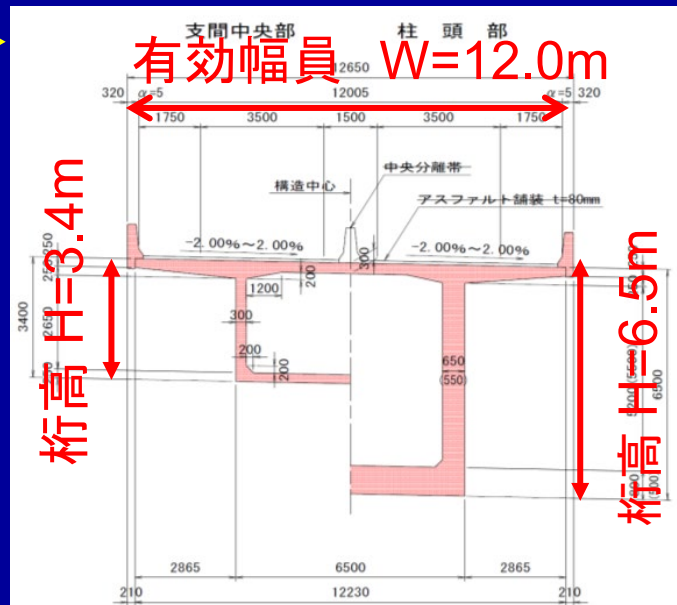
<側面図>



<平面図>



<断面図>



PC4径間連続ラーメン箱桁橋

施工方法: 片持ち張出架設工法

橋 長: $L=354.0\text{m}$

支 間 長: $65.9\text{m}+2 \times 110.0\text{m}+65.9\text{m}$

有効幅員: $W=12.0\text{m}$

工 期: H27.1.16~H29.3.31

＜張出施工の状況＞

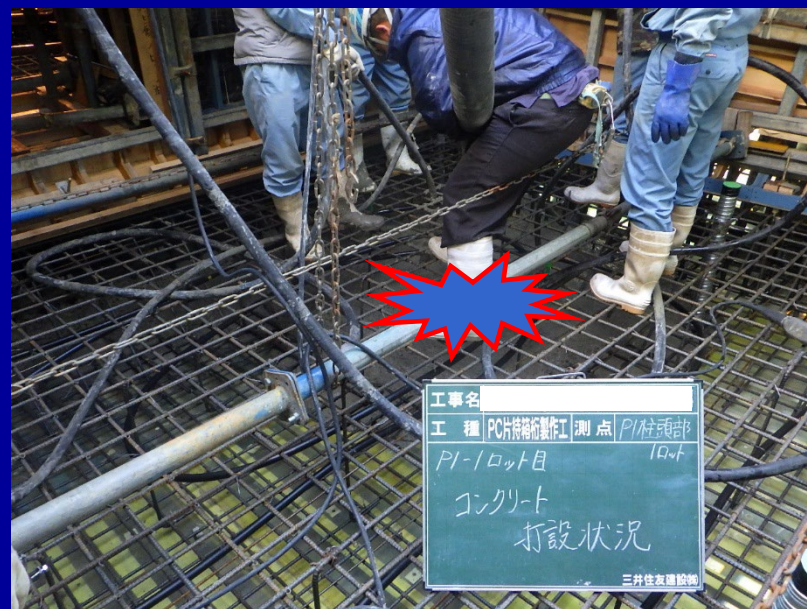


課題

- ・コンクリート打設時、張り巡らされた側枠のサポート材により作業空間が制限されている。
施工性の悪化と躓き・転倒の危険があった。



狭い空間での作業で、躓き・転倒の危険大！



バイブレータの配線などサポート材を縫って移動しなければならない。

改善提案

コンクリート打設作業時における作業員意見

- ・ 打設作業時、チェーン等に躓きそうで怖い
- ・ バイブレータ等の配線が引っ掛かり作業がしづらい
- ・ チェーンの間を縫っての移動が大変

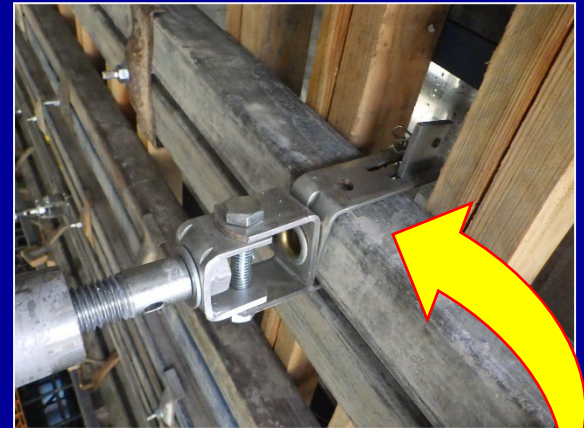
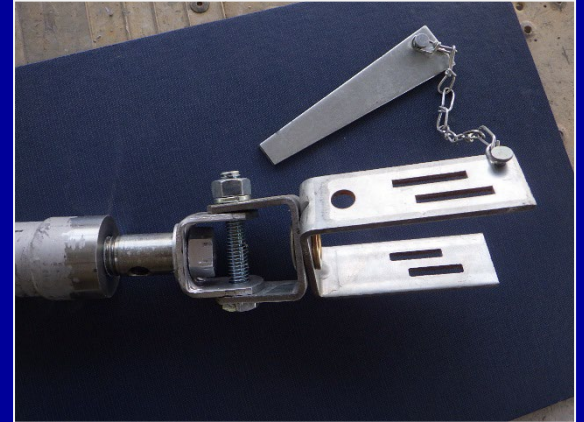
広々としたスペースを確保したい！



押し引き兼用のサポート材を取り入れ
チェーン・バックルを排除

押し引き兼用サポートの設置

兼用サポート設置時の打設前状況



使用サポート材は楔式固定端部となっており
角鋼管への設置が容易

改善による効果



- ① 作業空間は格段に**スッキリ**とし、**広々とした空間**を得ることが出来た。
- ② 鋼管が流れている位置であれば**セット可能**なので、セパが取れずに**撓みが大きくなる場所でのサポート**が可能となった。
- ③ **安全面でも良好**な印象となった